

# ちとせ 市議会だより

No.204



## 令和6年 第2回(6月) 定例会

### 撮影者のコメント

温暖化の影響か、今まで見ることが出来た鳥が見れなくなってきました。  
シマエナガ(写真は、ひな鳥)は、ずっと見ていたい鳥です。

撮影者：執行 伸(市内在住)

撮影場所：市内蘭越地区

### 目次

● 定例会のあらまし、議決結果	.....	2～3ページ
● 各委員会の活動状況	.....	4ページ
● 一般質問	.....	5～14ページ
● 政務活動費収支報告	.....	14～15ページ
● 議会事務局からのお知らせ等	.....	16ページ

# 定

## 例会のあらまし

### ●令和6年度補正予算等を可決

#### 令和6年度補正予算

令和6年第2回例会は、6月3日から6月18日までの16日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和6年度補正予算、条例の制定など、報告10件、議案9件、諮問1件、意見案1件が提出されました。

このうち、令和6年度補正予算2件については、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置して、審査を付託しました。また、即決を必要とする議案以外については、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、各議案等については、全て原案のとおり可決、同意、可と決定しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

#### ◆一般会計補正予算（第1回）

歳入歳出予算の総額に

19億5千359万5千円  
を追加

#### 補正予算の内容

・コミュニティ助成事業費  
（町内会備品整備）

240万円

・児童扶養手当給付事業費

57万7千円

・児童手当制度改正実施円滑化  
事業費

1千311万4千円

・母子家庭自立支援給付金及び  
父子家庭自立支援給付金事  
業費

944万6千円

・産地生産基盤パワーアップ事  
業費

7億5千245万円

・救急備品等整備事業費

285万4千円

・消防用ホース整備事業費

264万円

・消防備品等整備事業費

140万8千円

・起債償還金元金

11億6千870万6千円

◆国民健康保険特別会計補正  
予算（第1回）

歳入歳出予算の総額に

80万2千円を追加

・国民健康保険賦課業務経費

80万2千円

◆一般会計補正予算（第2回）

歳入歳出予算の総額に

139万5千円を追加

・千歳市名誉市民称号贈呈経費

139万5千円

#### 主な条例

◆千歳市税条例及び千歳市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について  
地方税法等の一部改正に伴い、市民税、固定資産税及び

都市計画税について所要の改正を行い、並びに職権により市民税、固定資産税及び特別土地保有税の減免ができる場合を定め、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
千歳恵庭圏都市計画の変更及び地区計画の決定に伴い、北信濃第6地区整備計画区域の建築物を制限し、併せて条文の整備を行うために制定。

#### 人事

◆次の件に同意

◎固定資産評価員に

山田 浩之 さん（新任）

◎人権擁護委員候補者に

福井 恵子 さん（再任）

#### 意見書

第2回定例会において、議員提案された意見書1件を原案可決しました。

◆災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

# 議決結果

## その他

### ◆財産の取得

- ロータリー除雪車
- ・数量 2台
- ・取得予定価格 5千121万6千円

### ◆工事請負契約の締結

#### 【工事名】

北栄A団地1、2号棟設備  
改修工事

#### 【工事場所】

千歳市新富1丁目746  
番191

#### 【請負金額】

2億592万円

#### 【請負契約者】

新栄・フジプラ特定共同  
企業体  
千歳市北信濃770番9  
新栄工業株式会社  
代表取締役 新井田 保  
千歳市高台4丁目4番17号  
株式会社フジプラ  
代表取締役 藤本 誠司



永年勤続  
議員表彰

5月22日に開催された  
第100回全国市議会議  
長会定期総会において、  
坂野議長、山口議員、松隈

議員が永年勤続議員表彰  
を受賞され、第2回定例  
会初日の6月3日に表彰  
状の伝達を行いました。

◎議員30年  
坂野 智 議長



◎議員10年  
山口 康弘 議員



◎議員10年  
松隈 早織 議員



## 第2回定例会 主な議決結果概要・議案の賛否

※議員番号「15」坂野 智 議員は、議長のため賛否は「-」としています。

「○」=賛成 「×」=反対 「欠」=欠席

件名・議案賛否・議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	付託した 委員会	議決結果	
	安部 優雅	渡部 謙太郎	北原 偉男	岩満 順郎	丸岡 仲幸	吉谷 徹	落野 章一	飯田 盛好	大山 益巳	山口 康弘	松倉 美加	北山 敬太	松隈 早織	相沢 晶子	坂野 智	五十嵐 桂一	山崎 昌則	佐々木 雅宏	古川 昌俊	今野 正恵	平川 美由紀	仲山 正人	宮原 伸哉			
議案第1号 令和6年度千歳市一般会計補正予算について(第1回)	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第2号 令和6年度千歳市国民健康保険特別会計補正予算について(第1回)	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第3号 千歳市税条例及び千歳市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第4号 千歳市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第5号 財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第6号 工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第7号 千歳市名誉市民の称号を贈ることについて	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第8号 令和6年度千歳市一般会計補正予算について(第2回)	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第9号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可と決定
意見案第1号 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

# 各委員会の活動状況

4月～6月に開かれた

各委員会の活動状況をお知らせします。

## 総務文教常任委員会

▼4月30日(火) 13時

学校給食費見直しの実施時期についての所管事務調査を報告済みとした。

▼5月28日(火) 13時

次世代半導体関連事業の進捗など、10件の所管事務調査を報告済みとし、令和6年度の行政視察について協議した。

▼6月4日(火) 13時

千歳市税条例及び千歳市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についてなど第2回定例会付託議案3件を原案可決とした。

## 厚生環境常任委員会

▼5月29日(水) 13時

令和6年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要など、8件の所管事務調査を報告済みとした。

## 産業建設常任委員会

▼5月29日(水) 13時

令和6年度千歳市一般会

計補正予算(案)の概要についてなど、9件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月4日(火) 13時

千歳市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について第2回定例会付託議案1件を原案可決とし、千歳市緑の基本計画の改定についての所管事務調査を報告済みとした。

## 議会運営委員会

▼6月3日(月) 11時

第2回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼6月10日(月) 10時

第2回定例会2日目の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼6月18日(火) 10時

第2回定例会最終日の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

# 千歳市議会議員の報酬公開!

市議会議員はどのくらいの報酬をもらい、家計はどんな状況なのか気になる内容を公開します。夫婦2人世帯と単身世帯の例で年間の額と、イメージしやすいように月の目安で紹介します。

### 50代 家族構成 本人・配偶者の例

● 報酬	4,620,000円
● 期末手当(6月)	996,000円
● 期末手当(12月)	996,000円
△ 所得税	約190,000円
△ 住民税	約290,000円
△ 社会保険料	約1,120,000円
※ 社会保険料は国民健康保険料と介護保険料と国民年金保険料の合計としています。	

### 30代 家族構成 単身の例

● 報酬	4,620,000円
● 期末手当(6月)	996,000円
● 期末手当(12月)	996,000円
△ 所得税	約260,000円
△ 住民税	約340,000円
△ 社会保険料	約760,000円
※ 社会保険料は国民健康保険料と国民年金保険料の合計としています。	

### 月の目安

● 報酬月額	385,000円
△ 所得税	15,800円
△ 住民税	24,200円
△ 社会保険料	93,300円
差額	251,700円

### 月の目安

● 報酬月額	385,000円
△ 所得税	21,700円
△ 住民税	28,300円
△ 社会保険料	63,300円
差額	271,700円

※ 月の目安の所得税や住民税、社会保険料額は年額を12で割った金額なので、実際の月額とは異なります。

※ 所得税は、月々納付している額ではなく、確定申告後の確定税額を月に割り返した額です。

**問** 毎月の値上げで、今年4月には食品などの価格は平均23%あがっている。物価高は続いており、電気やガス料金の負担を軽減する政府の補助制度が5月分で終了し、家計を圧迫している。①市が黒字経営をしている水道事業で、期間限定でも水道料金を減免できないか。②とせ市民応援商品券を毎年1回だけでも発行できないか。③7月に給食費の値上げを実施しようとしたが、周知期間の確保のため、9か月の延期となったが、この際、各家庭にアンケートなどを行い、市民の声を聞く機会を設けてはどうか。北

物価高への対策について



日本維新の会・新党大地

丸岡 伸幸  
議員

海道はLPガス利用者緊急支援事業で4月分のガス代を2千円補助し、北海道でさえ道民のための政策を行っており、市として市民のための政策を期待している。**答** 市長 ①令和5年度は純利益を計上しているが、水道施設の老朽化により、多額の資金が必要であり、純利益はこれらの財源としていきたい。今年度、水道料金の引き上げを取り止めたことで、物価高騰に対する負担軽減になっていると考えており、水道の基本料金の減免措置を行う予定はない。②商品券事業は、臨時的な事業であり、恒久的に商品券を発行することは考えていないが、今後、物価高騰による市民生活への影響や市内経済の状況等をよく見極めながら、適切に対応していく。**教育長** ③学校給食費の改定は、千歳市学校給食センター運営審議会での審議などを経て、保護者の一定の理解を得られたものと考えている。本年5月に令和7年4月から学校給食費を改定することや

改定後の額について、文書で周知を行っている。今後も、学校給食費を見直すことによる献立の充実などについて積極的にPRしながら、取り組みに対する意見や感想などを把握していく。**問** 今後、安心して子どもを出産でき、育てる環境の整備が必要であり、教育費・医療費など育児に関する政策は、市が先頭となり進めるべきである。①子育て支援に加えて働く世代が安心して、子どもを預けられる保育環境整備として、保育士の賃金アップや処遇改善が必要だと考えるが、市独自の政策などはあるのか。②子どもたちの支援充実を図るために2歳までの子どもたちにおむつや粉ミルクや絵本等の子ども用品を配布するのはどうか。③18歳まで、お米・牛乳券のほか市独自の野菜・卵券を配布してはどうか。④半導体企業が進出してくるのを期に

新たな子育て支援の提案

「身を切る改革」で予算を捻出し、新たな子育て支援に取り組んでどうか。**答** 市長 ①本市としては実施していないが、昨年末、運営費の基準となる公定価格が増額改定されたところであり、これにより、保育士の賃金の増額が図られているものと認識している。②3歳未満の乳幼児を養育している世帯に対し、紙おむつ用のごみ袋を配布しており、令和元年度より生後4か月の健診の際に5種類の絵本から保護者が選んだ2種類の絵本を渡している。③お米券などの配布は本市として行うことは考えていないが、「とせ出産・子育て応援事業」として、妊娠の際に、妊婦1人当たり5万円、出生後、子ども1人当たり5万円の応援給付金を支給している。④子育て世帯が千歳市で子育てしたい、もう一人子どもを産み育てたいと思うていただければ、引き続き、必要かつ持続可能な施策を推進していく。

市政を問う!!

今定例会では、6月10日、13日、14日、17日の4日間、各会派等からの一般質問が行われました。これらの質問の中から、主なものを掲載します。なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

一般質問議員

- ☆日本維新の会・新党大地  
丸岡 伸幸 議員
- ☆無所属  
落野 章一 議員  
北山 敬太 議員  
相沢 晶子 議員
- ☆自民党議員会  
安部 優雅 議員  
飯田 盛好 議員  
大山 益巳 議員  
山崎 昌則 議員  
山口 康弘 議員  
松倉 美加 議員
- ☆公明党議員団  
平川美由紀 議員  
宮原 伸哉 議員  
仲山 正人 議員
- ☆日本共産党  
吉谷 徹 議員



質疑の様子は、HPからご覧いただけます。



無所属

落野 章一  
議員

### EV充電スタンドの充実

**問** 電気自動車は脱炭素のクリーンエネルギーとして重要であり、災害時の停電に対しても非常用電源として有用である。そこで次の2点を伺う。①空港を持つ観光都市千歳でEVの充電スタンドは何力所あるのか。②車のメーカーによって充電ができないとか、不便や困難があるということはないのか。

**答** 市長 ①市内では自動車販売店やスーパー、ホテル、道の駅などにEV充電スタンドが20力所設置されている。なお、近隣では、恵庭市が10力所、北広島市が15力所、江別市が15力所、石狩

市が8力所、苫小牧市では33力所設置されている。

**市民環境部長** ②原則として、自動車メーカーによって充電できないスタンドは基本的にない。ただ、海外メーカーが設置した充電スタンドは、そのメーカーの車しか充電できない。海外メーカーの車を国内で乗る場合は、専用アダプターがあり、日本規格の充電スタンドで充電が可能となっている。

### 手話など聴覚障がい者への支援

**問** 聴覚障がい者は、外観からは障がい分からない。全国共通の耳マークをあしらい「筆談をお願いします」と記載した缶バッジがある。みんなをつなげる会の調査ではヘルプマークをはじめ、マークは10数種類ある。障がい者団体と協議して普及に努めてほしい。

**答** 市長 本市では、障がい者支援課窓口などに耳マーク表示版を設置し、筆

談の申し出をしやすくするための配慮をしている。またヘルプマークはホームページや障がい福祉ガイドにおいて周知に努めているとともに、障がい者支援課の窓口で配布しており、令和5年度の実績で218枚配布している。さまざま障がいを知らせるマークの普及については、その使用目的や使用方法などを調査し、千歳市障がい者地域自立支援協議会などの関係団体と意見交換を図っていく。

### アイヌ民族の経済的支援

**問** 昨年9月の鮭漁の儀式「アシリチエプノミ」に、道アイヌ協会の大川理事長はメッセージを寄せた。そこには貧困の連鎖を断ちたいとあった。2017年の北海道の調査ではアイヌ民族の大学等への進学率は全体より約3割低く、生活保護率は1割高くなっている。市では高校・大学生などへ無償の奨学金

を出している。ここにアイヌの方の家庭に優先枠を設けられないか。アメリカでは歴史的に不利な条件にあった人種への優遇策をとっており、これをもって千歳の福祉の先進性の象徴になると考えるが所見を伺う。

**答** 市長 本市の奨学金は、千歳市奨学金条例に基づき、向学心に燃え、その能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって修学が困難な学生および生徒に対し、等しく教育を受ける機会を確保に資することを目的とした給付型奨学金である。選考は、世帯の所得額や成績の基準に基づき実施しており、アイヌの学生生徒を含め、同様の基準により、選考しており、特にアイヌの学生生徒に対する優先枠を設けることは考えていないが、引き続き、経済的な理由によって修学が困難な学生生徒に対し、必要な支援を行っていく。

その他の質問  
・ライドシェアについて



無所属

北山 敬太  
議員

### 公の施設の管理委託 について①

**問** 3月の予算特別委員会の質疑において指摘をしたとおり、昨年、受託者を選定した市の児童館、学童クラブの

管理委託に関する契約において、その選定プロセスが一切開示されず、行政内部で秘密裏に選考手続きが終わっていたことが発覚した。同じ公募型プロポーザル方式を採用しながら、指定管理者の候補者選定とは異なる手順で行われている選定手続きに、甚だ違和感と矛盾を覚えるが、今後、これらの「公の施設」の管理運営に関する事業者選定について、市はどのように整合を図っていくのか所見を伺う。

**答** 市長 指定管理者制度は、地方自治法第244条の2に基づき、指定した法人等と協定を締結することにより、当該施設の管理を委任するものであるのに対し、プロポーザル方式は、受注者の専門性、企画力、創造性などにより、履行内容に差異が現れる業務で、価格のみによる競争に適さない、行政計画の立案や記念品のデザイン、催事企画、公共施設の管理委託など、委託業務全般に活用しており、それぞれ異なる手続きにより契約を行っているが、公共施設の管理委託に関しては、

指定管理者制度と類似した業務内容であることから、公共施設の管理委託を行う場合の手續きについては、指定管理者候補者の選定手續きを参考にプロポーザルガイドラインの見直しを検討していく。

### 公の施設の管理委託 について②

**問** 現状、管理委託制度により運営されている「公の施設」については、指定管理施設のようなモニタリング評価

も公表も行われていないが、少なくとも同じ公募型プロポーザル方式により事業者選定を行っている施設については、同様に市と受託者によるモニタリング評価を市民へ公表しなければおかしいものと感じる。①この点についても、今後、整合をとって見直しを図る考えはあるのか。併せて、今後、公募型プロポーザル方式で随意契約を行う場面を想定した場合、事業成果の指標化と市民への公表の在り方は、現状どのように思案されているのか伺う。②



無所属  
相沢 晶子  
議員

ラピダス社の  
取排水について

**問** ①ラピダス社の排水は、北海道によると、「千歳市に対しては特段の調整や会議はせずに、千歳川に流す」ことが決定していたとのことだった。ラピダス社の量産ラインでは、一日2万トンを超える量の水を安平川から取水することが決定しており、漁業団体など、多くの住民が不安を訴えているが、千歳川で排水する根拠について伺う。②熊本の中導体工場jasmを受け入れる熊本県は、特定公共下水道の設置を決定している。これは、住民の下水道とは別に、工業用の排水を流す下水道を設置する取り組みであ

契約という行政行為の正当性を市として今後どのような手順で市民や議会に示し、理解を得ていくつもりなのか。現時点での考えを伺う。

**答** 市長 指定管理施設については、指定管理者による公の施設の管理に関して、条例および協定等に従い、適切かつ確実なサービスの提供が確保されているかを確認する手段として実施しているものである。複数年の施設の運営業務委託において、プロポーザル方式により、業者選定を行った場合に

るが、こちらの設置の議論はないのか。

**答** 市長 半導体製造工場が建設される千歳美々ワールドは、千歳市公共下水道事業計画において、処理区域内で発生した汚水は、千歳市浄化センターにおいて適正に処理し、千歳川へ放流することとなっている。また、千歳川への放流については北海道主催の有識者懇話会において、国・北海道・ラピダス社・千歳市の4者において十分な協議を行い、排水量、下水処理能力などを勘案し、受け入れ可能との判断に至った。②特定公共下水道は、受け持つ工場数が20社以上、予定処理水量の合計が1日1万m<sup>3</sup>以上、排水の水質が良くないものの3つの要件にすべて該当する必要がある、ラピダス社の排水は、要件を満たしていない。

広報広聴について

**問** 広報ちとせの企画「市長への手紙」に対し、特集を組んで市民の声を紹介

いても、その運営状況等を確認し、市民に公開していく必要があると認識しており、今後は、年度ごとの運営状況を公表するとともに利用者アンケートの結果を踏まえ、改善意見等については受託者に改善指示を行うなど、より良い施設運営が図られるよう努めていく。②プロポーザル方式は、より一層、契約手続きの透明性・公正性を確保することが重要であり、企画提案書の内容やプロポーザル審査委員会における議事概要、業者の選定理由等について

していた。この特集が2006年に廃止後も、広報には毎月、市民の声が「声のラン」として掲載されていたが、2020年に終了した。①なぜ市民の声を掲載しなくなったのか。また、特集が「声のラン」の復活を要望するが見解を伺う。

道央廃棄物処理組合は、2012年に本市が加わり、2市4町で焼却処理を実施する特別地方公共団体だが、2021年に、焼却処理だけでなく、埋め立て処分も実施することが決定した。このことについて、広報が不足していると感じる。②市民に知らせる機会があったのか。③私は千歳市内に広域の処分場もできるのではと危惧しているが、現状において広域の最終処分の候補地は示されているのか。

**答** 市長 令和2年1月に千歳民報の休刊により、広報ちとせの重要性がさらに高まったことから、全体的な構成の見直しを行い、その一環として声のランを廃

止した。昨今、市が発信する情報や市民団体からの掲載依頼が増えてきていることから、限られた紙面の中で効果的な情報発信を行うことが重要となっている。現時点では、声のランや市長への手紙の特集記事の復活は考えていない。②焼却施設以外の廃棄物処理施設については、令和4年1月に組合規約を改正し、最終処分場の設置、管理および運営に関する事務について追加している。これらについて、随時、議会に説明するとともに、規約改正後には、組合のホームページや令和4年3月発行の道央廃棄物処理組合だよりにて構成自治体の住民に全戸配布し周知している。③令和4年度に立地が困難な地域を絞り込むための立地困難区域図を作成し、令和5年度は立地が可能な地域を明らかにするための基礎資料を作成する調査を実施している。本年度は、調査資料を基に、調査・検討を進めているところであり、現在、候補地は決定していない。



自民党議員会  
安部 優雅  
議員

## 中心市街地の温暖化対策

**問** カーボンニュートラル実現のためには、市民や事業者も一体となって取り組む必要があるが、中心市街地には、大規模な太陽光発電を設置する場所もなく、コロナ後の急激なインフレなどにより、再エネや省エネの導入に前向きだが思うように進められない事業者や商店街が多くある。多くの人が訪れ目に触れる中心市街地には、綺麗なデザイン灯も必要だが、これからの時代は脱炭素の取り組みも、街のブランド価値として大変重要な視点である。老朽化したデザイン灯の省エネのために

電球のみのLED化にとどまらず、太陽光パネルや蓄電池などの機能を組み合わせ、リニューアールすることで、商店街が見た目でも明るく、環境にも優しく、更には災害時にも強くなることになる。デザイン灯のリニューアールへの支援について、市の所見を伺う。

**答** 市長 デザイン灯は、商店街のイメージアップや防犯などを目的に、各商店街が市の補助金などを活用しながら整備したものであるが、商店街からは、デザイン灯の維持・管理が負担となっているため、市で管理してほしいとの要望が寄せられている状況にあることから、デザイン灯のあり方については、今後商店街とよく協議していく。

## 介護DX (ケアプランデータ連携システム)

**問** 厚労省では、ケアプランデータ連携システムの利用の推進を行っている。サービス提供票(予定・実績)をデー

タ連携するための標準仕様を作成し、公開した。標準仕様を活用してデータ連携をすることで、介護事業所の文書作成に要する負担が大幅に軽減されることが期待されており、多くの事業所が利用することで多くの効果を生みだすが、市内ではわずか数か所しか利用されていない。市が主導して利用促進をしていくことで、利用する事業所が広がっていくと考えるが、ケアプランデータ連携システムの普及や利用促進のために、今後どのように利用促進を行っていくのか伺う。

**答** 市長 本市は、令和5年11月にちとせの介護医療連携の会と連携し、ケアプランデータ連携システム説明会を開催しており、国民健康保険中央会と厚生労働省からシステムの概要等についての説明を行ったほか、千歳市高齢者福祉計画・第9期千歳市介護保険事業計画において国が掲げている介護職の生産性の向上の取り組みの一つとして、



自民党議員会  
飯田 盛好  
議員

## AEDの設置と維持管理・ そなえーるのグラウンド

**問** 現在48カ所の指定避難所の防災に関する糧食・備品・電源等については充実しているが、AED設置に関して

は、避難所となっている2カ所の町内会館で設置されていない。①設置されない理由について伺う。②指定避難所に指定されていない町内会館では、町内会が安心・安全のために、AEDを設置している。AEDの維持管理のために助成を行うことはできないのか。③「そなえーる」グラウンドは、有料で使用できるが、表面はサラサラの砂状で、その下は硬い層になっており、滑りやすく、通常のグラウンドの状態ではなく、危険を感じる。今後の対策

について伺う。

**答** 市長 ①市役所やコミュニティセンター等、多くの市民が利用する施設や運動競技を行う体育関連施設等、公共施設にAEDを設置しているところであり、町内会館については、日常的な利用者数が比較的規模の大きな公共施設とは異なることから、AEDを常時設置する施設の対象としていないが、大規模災害等、避難所として長期間にわたり開設が見込まれる場合には、市の持ち出し用AEDや災害時に開設しない近隣施設のAED

介護DXの推進を位置づけていることから、本システムの導入についても推進している。ケアプランデータ連携システムは、多くの事業所が導入することで、作業の手間がより削減され、大きな効果が得られることから、各種研修会を継続して実施するとともに、運営指導など、さまざまな機会を通して、周知していくほか、各事業所のシステム導入に関する不安や疑問など、個別の相談にも丁寧に対応していく。また、ケアマネジャーが多く在籍する居宅介護支援事業所や複数の居宅サービスを提供している事業者が導入することにより、小規模の事業者の導入が進むと考えられることから、新富ほつとすや祝梅ほつとすの指定管理者である千歳市社会福祉協議会をはじめ、複数の居宅サービスを提供している事業者に対し、個別に導入を依頼しているところである。

を配置するなど適切に対応する。②各町内会が独自でAEDを設置していることは、有益なものであると考えている。AEDを維持管理するための助成については、各町内会の設置状況に差異があることから、助成を行うことは考えていないが、引き続き、各地域の公共施設に設置されているAEDの維持管理を適切に行うとともに、民間におけるAED設置の普及啓発に努めていきたい。③施設の補修、修繕については、緊急性や優先度を考慮し実施しており、野外訓練場につい

では、現状すぐに対策が必要な状態であるとは認識していないが、今後も施設内の点検を継続し、利用者の安全を確保しつつ、気持ちよく施設を利用していただくよう維持管理に努めていく。

**ラーケーション事業について**

**問** 「ラーケーションの日」とは子どもと保護者が体験や探究型の学び・活動を自ら考えて企画し、平日に実行すること、校外での自主学習であるため、

子どもは学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなる。保護者等の休暇に合わせ、年3日まで取ることで、保護者の休みと子どもものの休みが合わない家庭においては、前進した施策だと思う。①本市においてラーケーションの日についての所見と導入する考えはあるのか伺う。②更に、親子が共に行動するような施策があるのであれば、具体的な内容について伺う。

**答** 教育長 愛知県などが取り組んでいるラーケーションは、保護者の休暇に合わせ、平日に学校外の学習活動を可能とすることで、児童生徒が家族とともに参加できることを目的に実施されているものと承知している。ラーケーションの実施にあたっては、平日における多様な学びの機会の充実を図る必要があることや、ラーケーションを活用した児童生徒の学習の遅れ、補習などを行う教員の業務負担も課題とされていること等から導入は考えていない。②本市では、調理や工作などを親

子で行う親子ふれあい講座やキウス周堤墓群見学会など、児童生徒と保護者が学習や体験を通じて親子の交流を深めるさまざまな事業を実施している。今後も青少年向けの事業を掲載した情報誌「ナビィ」などを通じ、家族参加型の事業への参加促進や周知に努めていく。

- その他の質問
- ・公園管理
  - ・市道標識等の保守点検
  - ・市営パークゴルフ場



自民党議員会  
大山 益巳  
議員

**次世代半導体工場の安平川からの取水について**

**問** ①道の有識者会議は安平川からの取水が望ましいとする評価結果をまとめたが、工業用水道整備について、完成までのスケジュール、水道管の設置ルートなど、どのように計画しているのか、また、現在の進捗状況について伺う。②排水については、工場内で排水処理を行い、浄化センターにて再度処理し、千歳川へ排水するが、千歳川への生態系や水質に与える影響はないものと考えているが市の認識を伺う。③排水量については、安平川分が1日2万4千m<sup>3</sup>との報道があり、千歳川の

1日の流量に対し、それほどの排水量ではないと思えるが、市の認識とイメージできる数字について伺う。

**答** 市長 ①北海道からは、工業用水道の整備計画について、水道管約22km、中継ポンプ場1カ所の施設整備を行うこととし、令和9年4月には1日当たり2万4千m<sup>3</sup>の工業用水を供給。水道管の整備ルートは、道路への埋設を基本に苫小牧東部から安平町・駒里地区を経由するルートを選定。水道管の整備は、請負契約を締結し、測量と設計を進め、中継ポンプ場は、工事の入札公告を行っているところと伺っている。②ラピダス社は、法令等より厳しい自社基準で水処理を行い、排水は新設する圧送管を通して千歳市浄化センターに送り、法令基準よりも厳しい本市の計画放流水質を遵守し、千歳川へ放流する。千歳川の生態系や水質などに与える影響は、今後、北海道において、具体的な対応の協議が行われると認識している。③千歳川の流量は、浄化

センターからの放流口より下流で最も近い観測地点を参考にした場合、その過去10年間の最大豊水流量を分母として計算すると約1%程度となり、500mlのペットボトルの水に対し、小さじ1杯程度となる。

**学校へのエアコン設置**

**問** ①令和7年夏の稼働開始に向けて、現在のエアコン設置に向けた状況を伺う。②学校の体育館に冷房設備の設置について検討すべきと考えるが、所見を伺う。③災害が発生し、停電が起きた際にはガスヒートポンプ式の冷暖房装置が有効であると考えている。学校の体育館にガスヒートポンプ式の冷暖房機の導入について所見を伺う。

**答** 教育長 ①全小学校18校の普通教室と職員室へのエアコン整備に着手しており、文部科学省の補助を活用する15校は、電源調査や点検口の設置、エアコンの取

付作業までを一括で令和7年3月までに、防衛省の補助金を活用する3校は、設計と工事を2か年で実施し、令和7年6月までに設置を完了することとしており、順調に整備を進めている。中学校は、令和8年の夏から、普通教室等でエアコンを使用できるよう、令和7年度から整備に着手していく。②体育館における暑さ対策は、特に暑さが厳しい日には、体育の授業や部活動を中止、制限するほか、スポーツクーラーを活用するなど、適切に対応していく。③体育館へのエアコン設置には、大型の業務用エアコンを設置する必要があり、多額の事業費を要することや、必要性についても慎重に検討する必要があることから、ご質問のガスヒートポンプ冷暖房機を含め、エアコンを体育館に設置することは考えていないが、小中学校における暑さ対策については、児童生徒や教職員が安全で快適に過ごせる学習環境の確保に向け、引き続き、着実に進めていく。



自民党議員会  
山崎 昌則  
議員

### 通学路の安全対策について

**問** 豊里・東郊地区の児童生徒100名くらいが通学する通学路の交差点の一時停止4力所のうち2力所が突如撤去され、車が止まらなくなり通学路が変更となった。しかし、そちらは施設帯で除雪時は除雪されず子どもたちは車道にはみ出して通行する危険な状況となり、これまでの通学路に再度変更し、子どもたちを誘導しながらの通学となった。千歳警察署にも要望に行ったが、聞き入れてもらえず、このような状況に地域の保護者、児童生徒は大変困っている。市としても、ぜひ一時

停止の変更を一緒になつて、要望して頂きたいが考えを伺う。

**答** 市長 市は児童生徒の安全対策として、通学路注意ののぼり旗を2力所に4本設置したほか、小学校においては通学路の変更を行い、新たに市の交通指導員を週2回、配置したところである。また、地理的にも私も理解しているが、改めて私も現地を確認したいと思っている。この冬に向けて学校や地域、警察関係者と通学路のあり方について、協議を行い児童生徒の安全を最優先に、現地の道路環境や周辺交通事情などを踏まえた対策について、さらに検討するとともに、町内会や学校、PTAなどから新たな安全対策として交通規制要望があつた場合は千歳警察署を通じて公安委員会に対し要望していく。

### 美々公園を含めた千歳湖等、今後の整備計画について

**問** 美々公園内の千歳湖周辺はホタル

や川真珠貝の生息、水芭蕉の群生など自然豊かな公園で、大切に整備し後世へと残していかなければならないと思う。周遊路の一部崩落や木橋の老朽化、水芭蕉群生地踏み荒らしなどの問題が生じており、この他にも、ちゃんとしたベンチがなく座って休憩もできないといった問題もある。①美々公園内の千歳湖周辺水芭蕉群生地の保護について木製遊歩道等の設置について考えを伺う。②千歳湖周遊路について崩落個所の整備や簡易ベンチの設置等を千歳市緑の基本計画へ盛り込むべきと思うが所見を伺う。③以前、ラピダス社は美々公園の自然環境を保存しながら整備を行うと表明した記憶がある。連携しながら双方で計画を進めるべきと思うが、市の所見を伺う。

**答** 市長 ①木道等を整備することにより、木道から花を間近で見ることができ一方、下流部への立ち入りや水辺に足を踏み入れるなどのデメリットも

考えられることから、現時点では、設置する考えはない。引き続き、美しい自然環境を守り、継承していくため、植物や野鳥等を観察する際の注意事項等についてホームページやSNSなどを通じ広く周知していく。②現在の計画では千歳湖を含む美々公園一帯を重点プロジェクトに位置付けている。次期計画においても、現計画を引き継ぎ、美々公園のあり方について方針を示していく。第1回緑化審議会においても、美々公園の保全について意見があり、引き続き、美々公園の保全や整備方針について、よく検討していく。③周辺に立地する企業との連携については、現段階において、企業側の具体的な外溝等のプランが不明であることから、今後情報収集に努めていく。

**その他の質問**  
・道路交通法改正による児童生徒への教育について  
・観光行政についてなど



自民党議員会  
山口 康弘  
議員

### 福祉避難所の拡充

**問** 能登半島地震では、介護が必要な高齢者や障がい者など要配慮者を受け入れる福祉避難所の開設が遅れ、1か月が経

つても38%しか開設できず、高齢者や障がい者の支援が課題となった。①本市の福祉避難所は5力所指定されているが、高齢者や障がい者の数が増加している現在、増設の検討はないのか伺う。②特別なケアを必要とする方に対し、専門知識を持つスタッフが不足している問題について伺う。③福祉避難所では高齢者や身体・知的・精神障がい者、妊婦、乳幼児や外国人が主な避難者ですが、その方々を想定した資機材の配備が必要と考える

かがいかがか。④民間の高齢者・障がい者

**答** 市長 ①福祉避難所を拡充することが望ましいと考えているが、現在、福祉避難所として指定が可能な公共施設がないことから、要配慮者の受け入れが可能な民間の社会福祉施設等と連携した対応を検討しており、民間事業者からの意見の聴取や福祉避難所の増設について協議している。②災害の規模

が大きく、市職員等のみでは、介護、

衛生管理などの専門知識を持つ支援者に不足が生じる場合は、北海道等を通して派遣チームの支援を要請し、福祉避難所の体制を確保する。③個々の状況により、それぞれの方が必要となる物資を用意してもらうことが最も重要だが、共通で必要となる物資や意思疎通をより円滑化するための物資等については、どのようなものが必要となるか、今後、関係団体とも意見交換を図りながら検討を進め、災害発生時に速やかに物資を調達できるよう、民間企

業

**問** 令和6年第1回定例会の代表質問で、市内公共事業の資材費や人件費の高騰が続いていることよって生じているさまざまな問題について伺った。その際、道路整備の進捗状況に対する答弁では、進捗率は幹線・補助幹線道路で25%、生活道路で19%であるとのことであった。市内で車を運転している道路のデコボコが目立っているのが腑に落ちる。私たちは、すべての公共施設の維持・管理するのにどのくらいの財源が必要なのか客観的に知る必要がある。①この老朽度調査を踏まえ

公共施設等総合管理計画



地域における GX 施策の推進について

業との協定締結を進めていく。④市は、避難行動に配慮が必要な方の避難にあたり、実際にどのようなことが課題となるのかなど、地域で避難行動要支援者避難行動体験会を開催し、顔の見える関係づくりを進め、千歳市社会福祉協議会が主催する千歳市災害ボランティアセンター設置・運営訓練に参加し、円滑な連携ができるよう努めている。

**問** 本市は「千歳市ゼロカーボンシティ」宣言し、地域におけるGX対策に取り組んでいる。本年は住宅の省エネ化へ向け高効率型給湯器の入れ替えを補助する「ちとせ住まいのゼロカーボン化推進事業」を実施しているが、対象機器が少なく、補助額や予算額も低い。市民からはCO2の削減効果が小さく家計に優しい給湯器を購入したいが機器や工事費の高騰で手がでないとの声を聞く。①補助額の拡大や予算の増額は出来ないか伺う。②CO2削減効

たうえでの大規模改修等の概算予算はいくらになるのか。

**答** 市長 ①将来更新等費用については、道路や橋梁、上下水道等を含めた公共施設等全体の将来更新費用については、24年間で2245億円程度、年平均93・5億円程度と見込んでいる。②今後の人口減少を踏まえると現在の公共施設の総量を維持することは、次世代に過度な負担を残すことにつながるのと観点から、令和28年度までに建築物系公共施設全体で延べ床面積を7%程度縮減することを目安としている。

スポーツ施設・設備の環境整備

**問** 各種スポーツのグラウンド等の施設や設備を整備する計画はなく、スポーツ団体からの聞き取りによる小破修繕や危険個所の緊急を要する修繕をその都度判断し行っている。施設を持った以上、維持管理するための整備費用が必要になることは当たり前であり、そのために公共施設等総合管理計画があるわけで、各スポーツ施設・設備も例外ではない。スポーツ環境にも目を向け、現状不足しているスポーツ施設・設備の維持・管理や課題の多い部活動の地域移行を見据えた環境整備を財政面からも充実させていきたい。

**答** 市長 スポーツや文化の活動を通じて、交流の輪が広がり、まちの活性化にも期待しており、市民が暮らしやすいまちづくりを進めるためには、スポーツや文化の振興への一層の取り組みは大変重要であると考えている。また、スポーツ施設・設備等については、修繕予定一覧を、施設の利用状況、

果が高い機器や自ら発電を行い発災時において電気の確保もでき市民による防災力向上に繋がる機器も出ている。補助対象機器の範囲を広げられないか伺う。

**答** 市長 ①補助額の設定は、他市町村の状況、事業者からの聞き取りなどを踏まえ、高効率給湯器の設置費用の10分の1、上限10万円とした。本事業はより多くの市民に利用していただき脱炭素化を推進していきたいと考えており、現時点では、上限額を増額する考

えはない。機器の老朽化や使用燃料の見直しによる更新の際には、本制度を活用していただきたいと考えている。②現制度の機器に加えて、天然ガスなどを燃料として、エンジンや燃料電池等の方式により、発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するCO2エネルギーシステム等を対象とするなど補助対象機器の拡大について検討している。

その他の質問  
・部活指導員の人材確保  
・新工業団地の開発準備状況

その他の質問  
・市営住宅の管理についてなど



公明党議員団  
平川 美由紀  
議員

### 軟骨伝導イヤホンの導入

**問** 近年、耳の軟骨を振動させて音を伝える軟骨伝導イヤホンが開発された。通常のイヤホンのように耳穴を小さくない上、集音器とセットで、雑音を取り除く機能が、小さな声もはっきりと聞くことができる。音を出す穴が無いので清潔に保ちやすく、1台約2万円と比較的安価で購入できる。東京都狛江市では、耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れるよう、市役所内に軟骨伝導イヤホンを導入している。大声で話すことで個人情報保護を周囲に聞かれるリスクを減らし、難聴者のプ

イバシー保護につながっている。千歳市でも市民サービスの向上につながる、軟骨伝導イヤホンの導入を検討してはどうかと考えるが見解を伺う。

**答** 市長 本市では、今年3月に包括連携協定を結んでいる民間事業者から、耳が聞こえづらい電話の相手方に対して声を聞き取りやすくする、音声明瞭化回路を搭載したサウンドアーチの寄贈を受け、高齢者支援課の電話1台に取り付けで使用しているが、職員からは、以前より電話の音が良く聞こえている様子で、電話で大きな声で話すことが減ったと聞いており、類似の補助機器が窓口対応に導入できないか検討していたところである。軟骨伝導イヤホンは、難聴者の窓口対応において効果が期待できるものと認識しており、大きな声を出さなくてもコミュニケーションが取れ、プライバシーにも配慮できるなど、市民サービスの向上につながるから、軟骨伝導イヤホンも含めて、聞こえづらさを改善する機

### 聴覚補助機器の助成

器の導入について検討していく。

**問** 日本の難聴者は人口の10%、人数に換算すると約1300万人に上る。一方、医療機器が高額なことなどを理由に、補聴器所有率が難聴者のわずか15・2%しかないことが分かっている。高価な補聴器を購入しても、聞こえやすくするための調整に時間がかかり、そのわずらわしさから利用を断念するケースも多い。さまざまな難聴者に適用できる聴覚補助機器の選択肢が整った今、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、聴覚補助機器の積極的な活用を推進する取り組みが必要と考える。今後、耳の聞こえで悩まれている高齢者に対して、①どの様に寄り添い、解決を図っていく考えか伺うとともに、②聴覚補助機器の助成についての見解を伺う。

**答** 市長 ①高齢者の相談は、日常生活

圏域ごとに市内の5カ所に設置している地域包括支援センターが担っており、耳の聞こえについても相談を受けている。具体的には、親の耳が遠く、出かけることが減った、耳の聞こえが悪くなったのどうしたら良いかなどの相談を受けており、本人の状況に合わせて、聴力を補助する家電や補聴器の使用、専門医への受診を勧めるなど、相談者に適切な助言等を行っている。市は、引き続き、高齢者の聞こえの悩みなど、高齢者の相談に対して、悩みが解決できるよう親身に対応していく。②聴力の低下が重度で、社会生活に困難がある方などに対しては、身体障害者手帳による補装具費支給制度があり、補聴器の購入費用が支給される。市は、補聴器を使用することは、社会参加の機会が増加し、介護予防や認知症予防の効果が見込めると考えられることから、身体障害者手帳の対象とならない高齢者に対する助成制度の導入について検討していく。



公明党議員団  
宮原 伸哉  
議員

### 認知症の早期発見と予防について

**問** 認知症は早期発見がとても重要であり、認知機能障害に悩まされる時間を短くすることや、今後の治療・介護の方

針を本人も交えて話し合いができるという利点もある。その対策の1つが、スクリーニングと呼ばれる認知症チェックである。また政府の公表で、喫煙率の低下や生活習慣病の改善、栄養管理や運動など健康意識の向上により、認知症の予備軍である「軽度認知障害」から認知症に進む率は大幅に減るといって推計予測があったことから、認知症に進行させない予防が大切だということがわかる。①本市においてスクリーニングの検査環境はどのようになっているか伺う。②この度策

定された「千歳市高齢者福祉計画」における認知症予防の施策内容を伺う。

**答** 市長 ①本市では、令和3年度から「認知症サポーター教室」を開催しており、認知症評価基準の一つである「ミニメンタルシート検査」を用いて、軽度認知障害などに該当する可能性のある方に対し、認知症予防事業や医療機関へつながり、認知症予防事業や医療機関へつながり、取り組みを行っており、令和3年度は10名、5年度は7回実施し延べ40名が参加している。②適度な運動および社会活

動への参加、バランスの取れた食事を目的とした各種取組を継続するほか、新たな取り組みとして、耳が聞こえづらい方の社会参加の促進につながる「補聴器購入助成」の検討や、高齢者やその食事の世話をする方に対し、栄養士が栄養相談や指導、調理実習などを行う「栄養ケアステーション事業」を開始したところである。私自身も周りで認知症が話題になる場面があり、誰もがこれから経験することもあると考える。以前読んだ本の一部を引用すると「認知症の人、その家

族、また介護事業者の方々、認知症や介護に漠然とした不安を抱いている方が、心のやすらぎを覚えることが大切なこと」ということであった。今後においても認知症の正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、地域共生社会の実現を目指すとした認知症施策を推進していく。

災害用トイレに関して

問 能登半島地震の教訓として「トイレの問題」が顕在化した。災害時の初期対応として特に重要なものが「携帯トイレ」の活用である。発災直後は水が使えない場合が多く、便があふれて、すぐに通常のトイレが使用不能となることが考えられるが、発災初期に「携帯トイレ」を使用することで通常のトイレが使用可能な状況となることから「携帯トイレ」の備蓄が重要といえる。そこで伺う。①携帯トイレの必要数に対する備蓄の現状と今後の方針について伺う。②通常のトイレ施設が使用不能とならないように、発災直後の適切な「携帯トイレ」の使用方法を各避難所の運営マニュアル等に反映する必要があると思うが見解を伺う。

答 市長 ①本市の備蓄は、「千歳市災害応急対策用品整備計画」に基づき、各指定避難所には簡易トイレ及び専用テナトのほか、排泄物を衛生的に処理できる凝固処理剤及びポリ袋いわゆる携帯トイレの配備を計画的に進めており、現在約3万回分を備蓄している。また備蓄目標としては、過去の災害の事例等を踏まえ昨年度に見直しを行い、「おむつを利用する乳幼児を除いた避難想定者の3日

等」を各避難所の運営マニュアル等に反映する必要があると思うが見解を伺う。

分」として令和14年度までに16万4千回分の備蓄を目標としており、今後企業とのレンタルトイレ等の物資協定も増やしなから、なるべく早期に備蓄を充足できるように進めていく。②備蓄している携帯トイレには、使用方法を記載した説明書が同封されているが、災害発生時に備え、平常時から訓練等で活用する「避難所開設・運営マニュアル」に携帯トイレの使用方法を記載することは災害時のトイレ対策に効果的であることから、今後マニュアルへの反映を行っていく。



公明党議員団 仲山 正人 議員

重層的支援体制整備事業について

問 令和3年4月に社会福祉法改正により重層的支援体制整備事業が創設され、今年度中に346市区町村で実施される見通しと聞いている。現代の複雑化・複合化した住民の悩みに対し、制度に人を合わせるのではなく、人を中心として関係機関が伴走型で支援を行うのが特長である。断らない相談支援を柱とし、孤立した人の社会参加を促す「参加支援」、居場所の確保といった「地域づくり支援」を一体的に実施し、各機関が協働しての取り組みや、訪問等のアウトリーチを通じた継続的支援も事業の一部であり重要

な事業と理解している。①当市の事業体制の方向性や事業開始時期等について伺う。②今後の取り組みに向けての課題等について伺う。

談機関の調整等を行い、高齢・障がい、子ども生活困窮の各分野だけではなく、各種制度について知見を持つ職員の確保が課題であると考えており、移行準備を進める中で、より具体的に課題の整理を行っていく。

自治会等の課題に対し、入居者の高齢化が加速する中で円滑かつ効果的な対応が必要と考えるが、予想される課題も含め所見を伺う。

市営住宅共益費について

答 市長 ①市は重層的支援体制整備事業について、令和5年度から、庁内意見交換会を3回開催し、北海道のアドバイザー派遣を受け、課題抽出や先行事例の検証などを行い、本市の支援体制について協議を行ったところである。令和6年度は、重層的支援体制整備への移行準備を実施する予定であり、ハローワークや保健所などの庁外機関を加えた会議も行う予定である。現在、検討中の段階にあり、相談体制や開始時期は言えないが、重層的な相談体制の整備に向けて引き続き取り組んでいく。②効率的・効果的に本事業を実施するには、これまでの各相談機関で行ってきた機能には無い参加支援、アウトリーチ型支援の実施方法や各機関の新たな連携体制の検討が必要となっている。また、複雑な課題整理や各相

問 市内の中高層市営住宅では、共用部の電気・エレベーター・給水ポンプ等の電気料、駐車場の除雪代金等を共益費として入居者が共同で負担している。この共益費の徴収は、入居者の高齢化に伴い徴収に困難をきたすケースや滞納者に対する回収に苦慮している状況や共益費と家賃を併せ徴収する対応について等の要望を複数の自治会等の方から相談を受けている。全国的にも同様の問題が顕在化し、自治体の条例・規則の整備を行い家賃と共益費を併せて徴収している自治体もある。本市も共益費徴収に支障がある

答 市長 公営住宅法では、市による共益費の集金までを禁止したものであるが、自治会と合意できれば、実施可能と考えているが、市が集金した場合でも、入居者が共同して清掃や維持管理を行う必要がある。仮に、市が共用部分の維持管理を行う場合、民間事業者に委託することが想定され、委託費用の発生により、入居者の負担が生じることが想定される。また、一部の自治会で同時に徴収している町内会費や親睦会費の取り扱いなどの課題もあり、これらの課題の整理と共益費の増額等に対する入居者の理解が必要となることから、慎重に検討しなければならぬと考えている。

その他の質問  
・通学路安全対策についてなど

## 政務活動費の交付概要

### ◎政務活動費とは◎

千歳市議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市議会の会派または会派に所属しない議員に対して交付するものです。

#### ◆交付額◆

議員1人あたり年額20万円

#### ◆交付方法◆

会派または会派に所属しない議員に、上記の交付額を年度当初に交付し、交付額決定後、残余额を返還することになります。

#### ◆主な支出◆

各会派等においては、主に研修や要望活動、資料の作成や購入、活動報告紙の作成のために使用されています。

#### ◆収支報告書・領収書の公開◆

収支報告書・領収書の内容は、市議会ホームページ（下記QRコード 令和5年度政務活動費収支報告）で公開しています。※市議会では、政務活動費の具体的な運用上のルールや取り扱いを定めた「政務活動費の運用基準」を策定し、市議会ホームページで公表しています。

市議会ホームページ  
令和5年度政務活動費収支報告



## 国民健康保険 特別会計事業について



日本共産党  
吉谷 徹  
議員

**問** ①令和12年度以降の国保基金の在り方に関する考えを伺う。②一次医療圏である札幌から離れ、特定疾病等の診療は市内で対応できず、時間も費用もかかる地域である本市において、北海道に言われるまま単一化を進め、市民の国保料を算定していく姿勢は違うのではないかと考える。札幌など医療アクセスに差があることを踏まえ、どの地域でも同一保険料を目指す、地域差を理解してもらう要望を行うべきではないか。

**答** 市長 ①令和12年度以降の基金の取り扱いについては、今後、保険料水準統一の取り組みの中で、北海道から示される内容を確認し、被保険者の負担軽減や国民健康保険事業の安定した運営に繋がる活用方法についてよく検討していく。②令和5年10月に厚生労働省は保険料水準統一加速化プランを策定し、保険料水準の統一を推進している。さらに国民健康保険法に基づき、令和6年4月から各都道府県が定める運営方針において、保険料水準の平準化に関する事項と国保事業の広域のおよび効率的な推進に関する事項が必須記載事項となり、国保事業の財政運営の安定化を図るため保険料水準の統一などが具体的に明記された。国民健康保険の制度改革は、各都道府県における全市町村、全被保険者で支え合う仕組みとなっており、保険料水準の統一等について道内の全市町村の首長などで組織する連携会議でも協議が行われ、運営方針に基づき取り組んでいることから、保険料水準の統一を行わないことを要望

する考えはない。

### 市独自の宿泊税導入

**問** 市独自の宿泊税導入検討に向け、市内宿泊事業者へのアンケートを取りまとめ中だと思うが、「受入環境整備」「観光資源の充実」に役立てるために、この税を課すことを検討しているという内容にとどまり、具体的にどういったことを示すのかわかりにくく感じる。①現状考えている宿泊税の徴収目的、徴収対象、使途この3点について、詳細を伺う。②派遣や単身赴任等、仕事の都合で訪れた方、仕事の都合での半年以上の長期滞在といった観光目的でない方、民間賃貸物件における年数縛りなど契約や条件が折り合わず、やむなく民泊やゲストハウスを利用する低所得の労働者など、これらの方からは宿泊税を集めるべきではないとの主張に対して市の考えを伺う。

**答** 市長 ①徴収目的は、観光客などの利便性や満足度を高め、受入環境の整備に取り組む必要があり、受益と負担という観点から、宿泊者に負担を求める宿泊税導入について検討を進めている。対象は、自治体に所在する、旅館業法の許可を受けて営む旅館・ホテル・簡易宿所および民泊への宿泊者としているが、検討委員会などで検討していく。また、使途は、受入環境の整備などを進めていきたいと考えているが、アンケート結果や検討委員会での意見などを踏まえ、具体的な使途を検討していく。②北海道では、課税の公平性の観点や宿泊者から税を徴収する宿泊事業者の事務負担等を考慮し、宿泊税は簡素な制度とすることが望ましいと考え、制度設計を行っているが、本市も事例やアンケート結果を参考に検討委員会などにおいて検討していきたいと考えている。今後、宿泊事業者の意見などもよく踏まえ検討を進めていきたいと考えている。

## 令和5年度各会派等の収支報告内容

	交付額 (円)	収入額 (円)	支出額(円)								返還金 (円)		
			調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳 情活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費		支出 合計	
自民党議員会	2,183,000	※ 15	105,506	223,768				1,012,034	42,460			1,383,768	799,247
公明党議員団	800,000	※ 4	252,340					310,554		30,372	2,860	596,126	203,878
日本維新の会・ 新党大地	200,000					136,400				38,999	7,053	182,452	17,548
無所属 落野章一 議員	200,000	※ 1								290	6,400	6,690	193,311
無所属 北山敬太 議員	200,000							42,460		6,287	52,899	101,646	98,354
無所属 松隈早織 議員	200,000			117,780							46,552	164,332	35,668
無所属 相沢晶子 議員	200,000	※ 1	3,210		112,750							115,960	84,041
無所属(前議長) 山崎昌則 議員	200,000											0	200,000
無所属(前副議長) 宮原伸哉 議員	200,000											0	200,000
無所属(議長) 坂野智 議員	200,000		67,170									67,170	132,830
無所属(副議長) 五十嵐桂一 議員	200,000	※ 1										0	200,001

※収入は預金利子

●日本共産党は、交付申請を行わなかったことから、政務活動費は交付していない。

### ◆主な支出内容◆

#### ○調査研究費

- ・「半導体工場誘致に係るまちづくりについて」(熊本県)
- ・「移住施設について」・「結婚新生活支援事業について」(福岡県)
- ・「DXの推進について」(福岡県)・「図書館・美術館運営事業について」(熊本県)など

#### ○研修費

- ・「在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村議会議員による情報交換研究会」  
三沢市及びその周辺自治体公共施設の研修(青森県)
- ・第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州  
基調講演「躍動的でワクワクする市議会へ」  
パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」など(福岡県)
- ・第14回日本自治創造学会研究大会「DX時代の日本の原動力を考える」など(東京都)
- ・地方議員研究会、財政集中講座「自治体財政の基礎」など3講座

#### ○要請・陳情活動費

- ・千歳市の自衛隊体制維持・強化に関する要望(東京都)

#### ○会議費

- ・常滑市及び常滑市議会との意見交換会(愛知県)

#### ○広報費

- ・活動報告紙作成

# 「市民の声を聴く会」を開催します

第12回市民の声を聴く会で、市議会議員とちとせのまちづくりについて話してみませんか？  
昨年は第1部で市議会の役割や千歳市の概要を説明し、その後、グループに分かれて、市議会議員とのフリートークを行いました。

今回も、グループに分かれて、意見交換会を行う予定です。例年、学生の参加が多く、多くの市民の方に参加できる内容としていますので、みなさんのご参加をお待ちしております。

## 【日 時】

令和6年10月22日（火）  
16時00分～（2時間程度）

## 【場 所】

北ガス文化ホール  
（千歳市民文化センター）  
3階 視聴覚室



## 【問い合わせ】

千歳市議会事務局  
電 話：24-0773 または 24-0793  
メール：gikaisomu@city.chitose.lg.jp

※下段の写真は、第10回、第11回の市民の声を聴く会の様子です。



## 議会事務局からのお知らせ

### ★議会の予定

令和6年第3回定例会は、9月17日（火）に開会する予定です。  
正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページや市公式SNS、ポスターでお知らせします。

### ★ホームページのご案内

会議の出席状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などもご覧になることができます。  
ぜひアクセスしてください。

### ★表紙を募集しています！

市議会だより（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしています。

### （問い合わせ）

千歳市議会事務局 総務課 調査係  
TEL 0123-24-0791（直通）  
E-mail:gikaisomu@city.chitose.lg.jp

### ★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。  
希望される方は、点字図書室までお問い合わせください。



### （問い合わせ）

千歳市総合福祉センター2階  
点字図書室 TEL 0123-27-3921

## 編集後記

千歳市議会だよりを最後まで読んでいただきありがとうございます。千歳市議会だよりでは、毎回の定例会の内容や市議会の活動をわかりやすく皆様にお伝えしたいと考えております。

議会報編集委員会では、市民の皆様にとっていただくために、表紙の写真は何にしようか、記事の内容やレイアウトはどうしようかと考えて、毎号作成しています。今回は議員報酬の記事にしてみました。「こんな記事が見たい」などのお声、ぜひお聞かせください。まだまだ暑さが続きますので、くれぐれもご自愛ください。今後も引き続きよろしくお願ひします。

## 議会報編集委員会

委員長 大山 益巳  
副委員長 吉谷 徹  
委員 安部 優雅  
平川美由紀  
相沢 晶子

市議会だよりは、植物油インキを使用しています。